

平成29年2月22日

**本学が所蔵する教科書画像データベース  
約 4, 000 点の全文画像を公開します**

広島大学図書館は、「広島大学図書館教科書コレクション画像データベース」(※1)における公開画像の拡張を行いました。今回行った 2, 368 点の全文画像の追加公開により、収録資料 5, 607 点のうち 3, 977 点の全文画像公開が実現しました。

広島高等師範学校などの教員養成校を前身に持つ本学には、江戸時代から近現代の教科書が多数所蔵されています。本データベースは、これらの教科書のうち、江戸時代の往来物から昭和 26 年までに使用された教科書を整理・画像化したものです。2001 年の公開より多方面で活用が行われてきましたが、これまで全文画像が公開されている資料は 1, 609 点にとどまっております(他の資料は部分画像の公開)、公開画像拡大の要望が寄せられていました。今回の公開は、全収録資料の全文画像公開に向けた取り組みの第 1 弾として行われたものです。

また、併せて、本学の教育学研究科の教員らと共に、本データベースに収録されている約 200 点の主要資料について、資料の内容や成立背景などを説明した<sup>かいだい</sup>解題の付与(※2)を行っています。このことにより、日本教育史等の研究者のみならず、一般の方々を含む教育関係の学習者による本データベースの利活用促進も期待できます。

**【参考】**

※1 広島大学図書館教科書コレクション画像データベース

<http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text>

※2 広島大学図書館教科書コレクション画像データベース解題一覧

<http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/textAnnot>

**【お問い合わせ先】**

社会産学連携室図書館部図書学術情報企画グループ 上田

Tel : 082-424-6202 FAX : 082-424-6211

E-mail : tosho-kikaku-jyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

# 広島大学図書館所蔵 教科書コレクション画像データベースの拡張・強化

広島大学図書館が所蔵する  
江戸期から近現代日本の  
初等教育から高等教育までの  
教科書コレクション\* (平成13年公開)  
\*<http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/>

**特色1** 体系的に整理・分類された、  
国内有数の教科書に特化した  
データベース

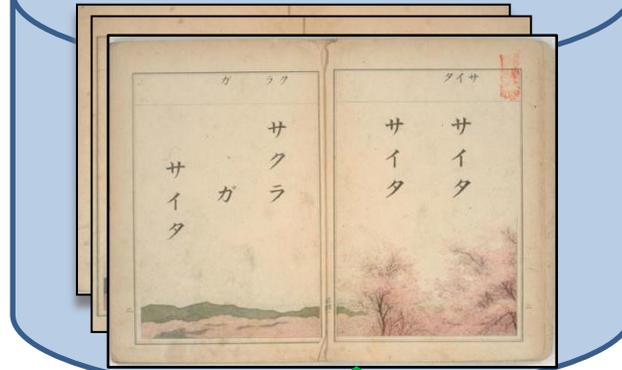
-時期区分別  
学制実施以前、検定教科書期、国定教科書期  
etc.

-学科(教科)区分別  
国語、算数・数学、理科、歴史・地理 etc.

-学校制度区分別  
往来物、初等教育、中等教育、師範教育 etc.

**特色2** どの区分の資料もバランスよく収録されており、  
インターネットから視覚的に  
日本の教育史を俯瞰できる  
データベース

## 教科書コレクション 画像データベース



全文  
閲覧

海外を含めて  
約10万件/年のアクセス  
(平成25年実績)

国内外の  
教育学を学ぶ学生  
研究者  
初等・中等教育現場の教師  
一般市民



これまで

整理・分類された約**5,600冊**のうち  
江戸期の往来物から明治初期の教科書  
約**1,600冊**を  
全文画像インターネット公開

拡張・強化

① 約**4,000冊**の画像を作成・公開

表紙・目次等の部分画像にとどまっている  
明治中期から昭和26年までの  
教科書を完全画像化

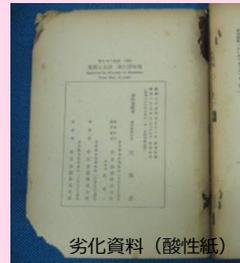
全文画像化を望む声

② 主要な資料への解題付与

世界国尽(明治4 福沢諭吉訳の地理教科書)、くにあゆみ(昭和21  
戦後初の歴史教科書) ほか

③ 劣化資料の保存

電子画像を閲覧することにより  
酸性紙等、劣化した資料を保存し、  
後世に継承



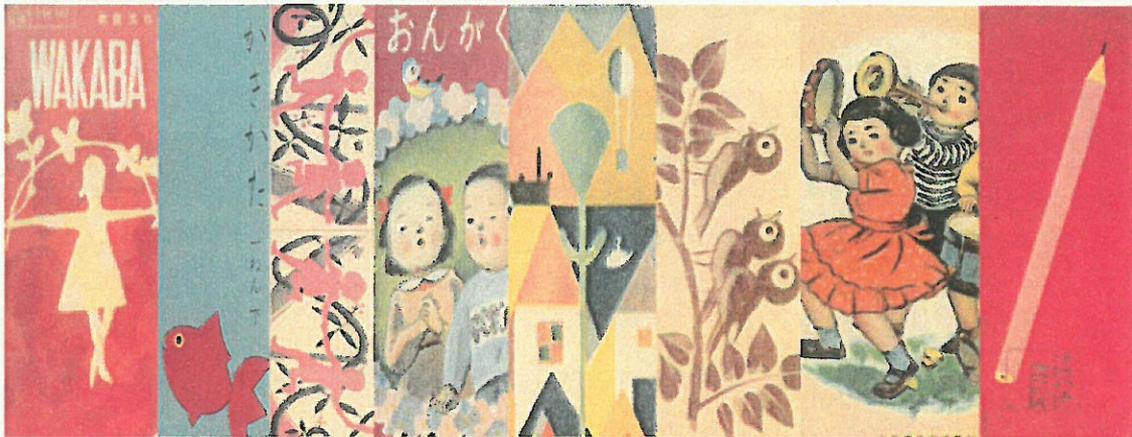
利活用の促進

効果

- ・教育史・教材開発の研究資料として活用
- ・教育の在り方を考える学術的・社会的意義
- ・貴重資料を後世に継承し、人類共有財産に

日本の  
教科書研究  
の拠点へ

広島大学図書館  
教科書コレクション画像データベース



検 索

English | Japanese

[キーワード検索](#)

一 覧

[時期区分](#)

[学科\(教科\)区分](#)

[学校制度区分](#)

リ ン ク

[教科書コレクション解説](#)

[利用の手引き](#)

[教科書コレクション ホーム](#)

[広島大学図書館](#)

このサイトについて

このコレクションは、中央図書館に所蔵されている教科書の中から、江戸時代の寺子屋で使用された「往来物」から昭和25年までのものを画像化したものです。約5,600冊収録しました。  
詳細は[教科書コレクション解説](#)をご覧ください。

時期区分

「教科書制度」で6区分しています。

学科(教科)区分

「哲学」「自然科学」等の大分類9区分のもと、それぞれ「修身」「算術」などに区分しています。

学校制度区分

「初等教育」「師範教育」など8区分しています。

利用上の注意

資料の利用方法や書誌データの見方については[教科書コレクション利用の手引き](#)をご覧ください。

このデータベースに収録されたデジタル画像を展示、出版物に掲載等の目的で使用する場合は「デジタル画像利用許可願」を事前にご提出ください。詳細は[こちら](#)

お問い合わせ先

資料の内容について  
広島大学図書館 図書学術情報普及グループ  
TEL : 082-424-5631  
Email : tosho-fukyu-wrc@office.hiroshima-u.ac.jp

データベースシステムについて  
広島大学図書館 学術情報企画担当  
TEL : 082-424-6218  
Email : tosho-kikaku-kyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学図書館  
〒739-8512 広島県 東広島市鏡山一丁目2番2号

# 広島大学図書館 教科書コレクション画像データベース解題一覧(準備中)

## 教科

- 選択解除
- 国語
- 社会
- 数学(準備中)
- 理科
- 英語(準備中)
- 体育
- 家庭科(準備中)
- 音楽(準備中)
- 美術(準備中)
- 教育史(準備中)

## 時期

- 選択解除
- 学制実施以前(江戸～1872)
- 検定制度実施以前(1873～1885)
- 検定教科書期(1886～1902)
- 国定教科書期(1903～1945)
- 文部省著作教科書期(1946～1948)
- 現行検定教科書期(1949～)

## 検索

検索

### 繪入智慧の環 三編上 四編上

本文URL:(三編上)<http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/metadata/427>、(四編上)<http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/metadata/486>

時期: 学制実施以前(江戸～1872) | 教科: 国語(地理(往来物), 旅, 観光などを含む)

1870年(明治3年)から1872年(明治5年)にかけて古川正雄によって著された日本最初の教科書のひとつであり、4編上下巻の全8冊から成る。内田楓山の書・八田小雲の絵によって作成されており、日本近代絵本の始まりとも位置づけられている。著者である古川正雄は慶應義塾初代塾長であり、福沢諭吉の弟子である。これらはFURUKAWAのローマ字が配された異装版として1873年(明治6年)に改正再版されており、本コレクションのうち第四編上はこの異装版となっている。同じく古川正雄によって著された『ちえのいとぐち』と並んで、『小学教則』において「綴字」の教科書として取り上げられている。

『繪入智慧の環』全8冊は次のような構成となっている。初編上: 詞の巻、初編下: 文法概説、二編上: 万国尽の巻(世界地理)、二編下: 文法(母音子音・名詞)修身、三編上: 大日本国尽の巻(日本地理)、三編下: 文法(代名詞・形容詞)窮理、四編上: 名所の巻、四編下: 文法(動詞)。江戸時代に寺子屋などで広く読まれていた教材を使用する一方で、外国の初等言語教科書の編集方針を採用するなど、新しい学校教育を切り開く糸口となることが意識されていたといわれる。「学制」に先行して作られた教科書のひとつであるが、こうした編集方針・幅広く統合的な内容から、後の「学制」にも強い影響を及ぼしたとされることを受けている。

三編上「大日本国尽の巻」は木版刷りの日本地図とともに国名と主要都市がルビ付きで箇条書きのように並べられている。一方四編上「名所の巻」は冒頭で日本史の概要が記された後に日本全国の名所についての案内文が絵図とともに紹介される。四編はそれまでのものと異なり文章で記された「読み物」となっていることは興味深い特徴だといえよう。(解題執筆: 中井 悠加)

#### 参考文献

府川源一郎. 明治初等国語教科書と子ども読み物に関する研究. ひつじ書房, 2014  
井上敏夫編. 国語教育史資料巻二教科書史. 東京法令, 1981

### 単語篇

本文URL: <http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/metadata/499>

時期: 学制実施以前(江戸～1872) | 教科: 国語(語彙(往来物), 文字, 国語など)

1872(明治5)年に文部省(現, 文部科学省)において刊行された、わが国の最初の国語教科書である。三編三冊から成る。1873(明治6)年には、文部省より翻刻が許可され、1874(明治7)年の報告では、当時の36府県の内27府県で、合計523,000冊が翻刻されたとされる。

第一編の巻頭にはいろは図、五十音図、四種活用図が掲載されている。それに続いて日常生活に必要な単語が25項目に分類して列挙される。その内容は、数、方、形、色などのほか、生活上の数量単位、天文地理、住居人間関係、衣食、鉢動植物等の種目である。第二編も第一編とほぼ同様の分類であるが、第一編と比べると難しい単語が掲載される。第三編は第一編、第二編とは分類項目が異なり、「歴代帝号」「年号」「苗字」などの単語が列挙される。

「単語篇」の名称は欧米の学制に従ったものであるが、単語によって漢字を授けようとしている点や、日常生活に必要な常識を養成しようとする意図している点では、江戸時代の往来物の系統を継いでいるといえることができる。(解題執筆: 長岡 賢)

#### 参考文献

井上敏夫編. 国語教育史資料巻二教科書史. 東京法令, 1981  
府川源一郎. 明治初等国語教科書と子ども読み物に関する研究 リテラシー形成メディアの教科書文化史. ひつじ書房, 2014

### 小学入門 乙号

本文URL: <http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/metadata/1021>

時期: 検定制度実施以前(1873～1885) | 教科: 国語(国語, 読本, 古文, 暗唱, 読み方, 書き取り)

明治7年8月, 文部省刊行。

『小学校入門乙号』の内容は、「いろは圖」「五十音」「濁音」「次清音」「數字」「算用數字の圖」「羅瑪數字の圖」「加算九九の圖」「乗算九九の圖」「單語圖(第一—第八)」「連語圖(第一—第十)」「線及度圖」「面及體圖」である。

『小学校入門乙号』は、構成、教材の示し方や扱い方に、次のような特色が見られる。まず、構成は、いろは図、五十音、濁音、次清音、…単語図、連語図…の順序で示されている。文字から単語、単語から連語へとこの指導の体系が考えられている。次に、教材が実物直観の方法によって示されている。単語図は単語の横にその文字があらわす実物を絵として示してある。さらに注目すべきは、初歩国語学習のための教材の扱い方を示していることである。連語図の第一には「神、人、天地、萬物、主宰…」などの単語が提出され、その後「神は天地の主宰にして人は萬物の靈なり」と文語調でその短句が提出されている。これは、単語文字を教えた後にこの文字を組み合わせて単文を作る学習を求めていると考えられる。

『小学校入門乙号』の内容を概観すると欧米に習い、小学校で学習する各科目への入門教材にする編集方法となっている。しかしながら、本書には国語の読み書き学習に関する内容が多い。そのため、教科「国語」成立以前に、読み書きの入門期学習がどのような教材を手がかりになされてきたのか、ということを知りたいための貴重な資料であるといえることができる。(解題執筆: 叶井 晴美)

#### 参考文献

井上敏夫編. 国語教育史資料 第二巻 教科書史. 東京法令出版, 1981  
菊野雅之. 落合直文『中等国語読本』の編集経緯に関する基礎的研究—二冊の編纂趣意書と補修者森嶋外・萩野由之. 語学文学. 2015. Vol.54, pp.29-40.

### 小学読本 卷之一

本文URL: <http://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/text/metadata/1073>

時期: 検定制度実施以前(1873～1885) | 教科: 国語(国語, 読本, 古文, 暗唱, 読み方, 書き取り)

当時文部省(現, 文部科学省)にいた田中義廉の翻訳編集によって、1873(明治6)年3月に刊行される。四巻四冊から成る『小学読本』の最初の巻である。『小学読本』は、初版本のほか、翌年8月に改正されたもの、さらにそれを那珂通高が校正したものの3種類の版がある。文部省が翻刻の許可を出したため全国的に普及し、1874(明治7)年の報告では406,000冊が翻刻されたとされる。

## 解題

1900（明治 33）年に、作家の坪内雄蔵（坪内逍遙）によって編纂され、富山房から出された国語読本である。富山房は、この時期教科書の出版に新規参入した出版社で、文豪坪内雄蔵によって画期的な国語読本がいくつか編纂・出版された。坪内雄蔵は、尋常小学校用の『読本 尋常小学生徒使用書』巻一～巻八（明治 32 年）、『国語読本 尋常小学校用』巻一～巻八（明治 33 年）、高等小学校用の本書、『国語読本 高等科女子用』巻一～巻八（明治 33 年）、中学校用の『訂正 中学新読本』巻一～巻八（明治 41 年）、『新撰 国語読本』巻一～巻八（明治 44 年）に関わっているが、これらの読本の評価は極めて高い。

坪内は、編集に携わる前から国語教科書の編集に関心を持ち、欧米の読本を調査したり、国語読本を対象とした書評や演説の中で、理想の読本のあり方について主張を表明したりしていた。それは、文章の正確さだけでなく、平明さや読み手の興味を惹くような文章表現としての魅力を備えるべきというものであった。上に挙げた一連の読本は、そうした坪内の理想が現実化されたものととらえることができる。

坪内による読本は、上記のような経緯から全体的に「文学的」と評される。高等小学校用の本読本は、尋常小学校用に比べ文語文が中心となっているが、各巻に配された口語文による教材は、敬体から常体の口語に発展しており、内容も童話的内容から実話的内容になっている。

外国に関する教材を多く集めている点も共通した特徴であるが、そうした点では、尋常小学校用より高等小学校用の方にそうした特色が強く現れている。全巻では 19 教材が欧米由来の教材とされる。巻一に採録された「おしん物語」は、ペローによる「シンデレラ」を出典としたものである。

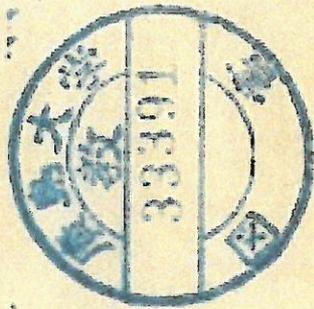
本読本の後の教科書に対する影響も大きい。外国に関する教材をはじめ、本書に掲載された教材は、この後の教科書にも多く採用されていて、1904（明治 37）年からの国定の国語読本にも見られる。

（解題執筆者 間瀬茂夫）

## 参考文献

府川源一郎『明治初等国語教科書と子ども読み物に関する研究』ひつじ書房、2014。

井上敏夫編『国語教育史資料巻二教科書史』東京法令、1981。



文學博士坪内雄藏著

國語讀本 高等小學校用 卷二

東京 會社富山房藏版

日十月三年二十三年三治明  
書科教用童兒科語語國校學小等高  
濟定檢省部文

